

「令和8年熊本地震」について（第8号）

今後1週間程度、最大震度5弱程度以上の揺れに注意

【防災上の留意事項】

7月28日の「令和8年熊本地震」（M7.1、最大震度7）で揺れの強かった地域では、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や気象の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

今後（9月15日から）1週間程度、最大震度5弱程度以上の揺れを伴う地震に注意してください（想定される地震の発生頻度は月に1回程度）。

なお、最大震度5強程度以上の地震についても、平常時と比べると依然として発生しやすい状況です。

【地震活動の状況】

7月28日の地震発生後、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続していますが、大局的には緩やかに減少しています。

9月15日15時00分までに、震度1以上を観測した地震が774回発生しています。

本件に関する問い合わせ先：平日（日中）	福岡管区気象台地震火山課	092-725-3609
夜間・休日	福岡管区気象台地域火山監視・警報センター	092-725-3606
平日（日中）	熊本地方気象台	096-324-3283

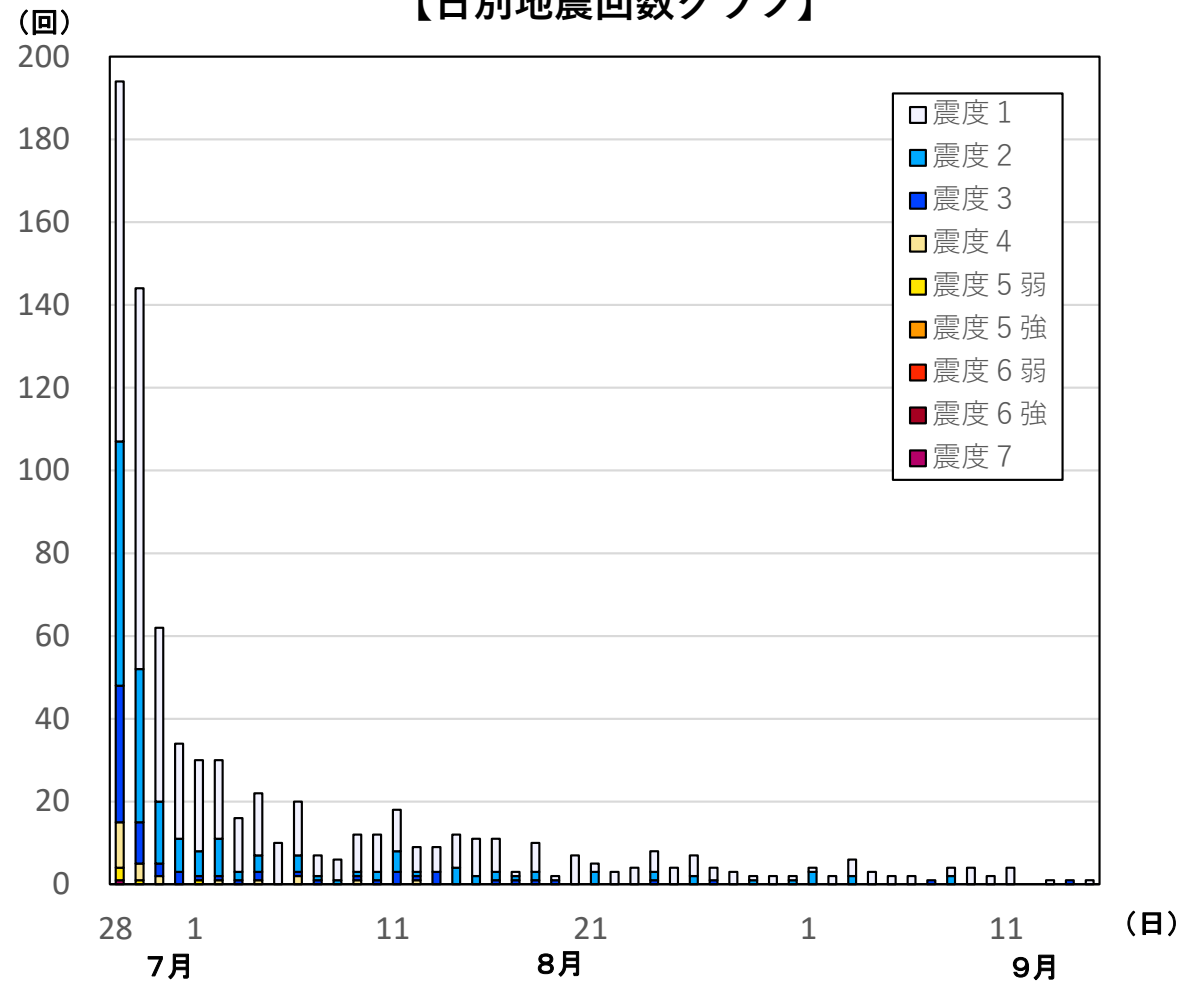
震度1以上を観測した地震の状況

【最大震度別・期間別地震回数表】

（7月28日16時～9月15日15時）

月	日	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
		震度 1	震度 2	震度 3	震度 4	震度 5弱	震度 5強	震度 6弱	震度 6強	震度 7	合計	累計
7	28～31	244	119	49	17	4	0	0	0	1	434	434
8	1～10	120	30	9	5	1	0	0	0	0	165	599
	11～20	63	17	11	1	0	0	0	0	0	92	691
	21～31	33	9	2	0	0	0	0	0	0	44	735
9	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	739
	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	741
	3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	747
	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	750
	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	752
	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	754
	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	755
	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	759
	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	763
	10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	766
	11	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	771
	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	771
	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	772
	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	773
	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	774
合計		488	184	73	23	5	0	0	0	1	774	

【日別地震回数グラフ】



※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがある。
9月15日は15時までの回数。

- 7月28日16時27分の地震（最大震度7）以降、今回の地震活動の領域で震度1以上を観測した地震が774回（最大震度7：1回、最大震度5弱：5回、最大震度4：23回、最大震度3：73回、最大震度2：184回、最大震度1：488回）発生（9月15日15時00分現在）。

地震活動の状況

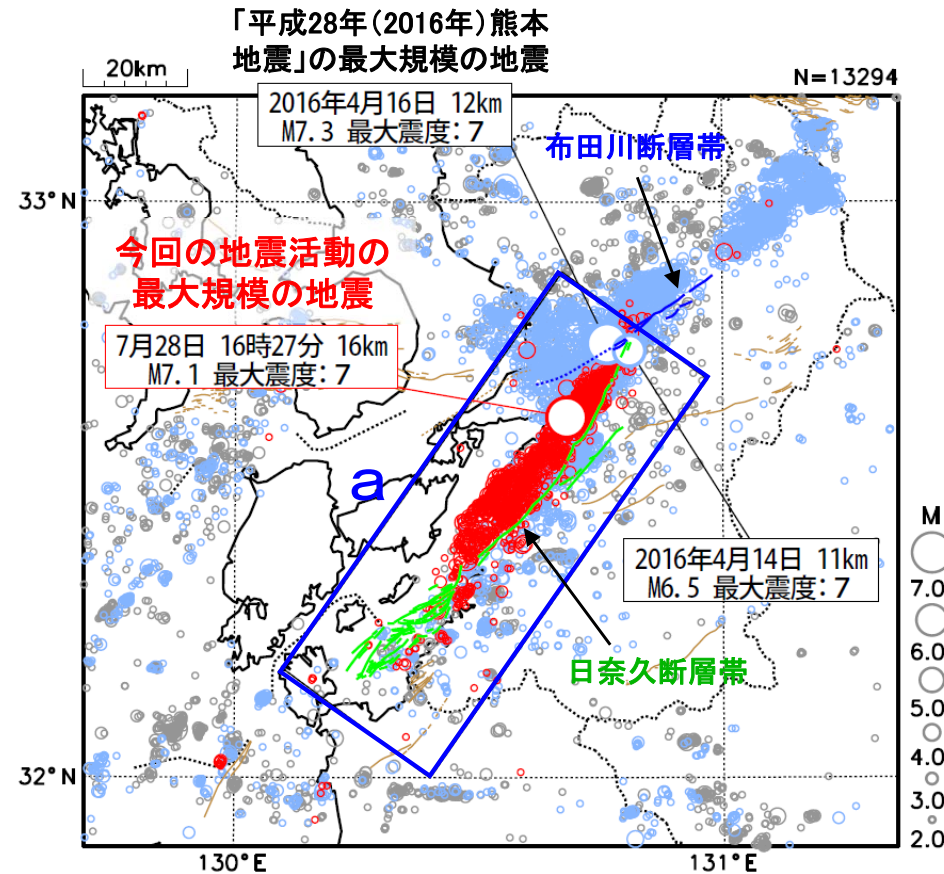
震央分布図

（2000年10月1日～2026年9月15日12時、 $M \geq 2.0$ 、深さ0～20km）

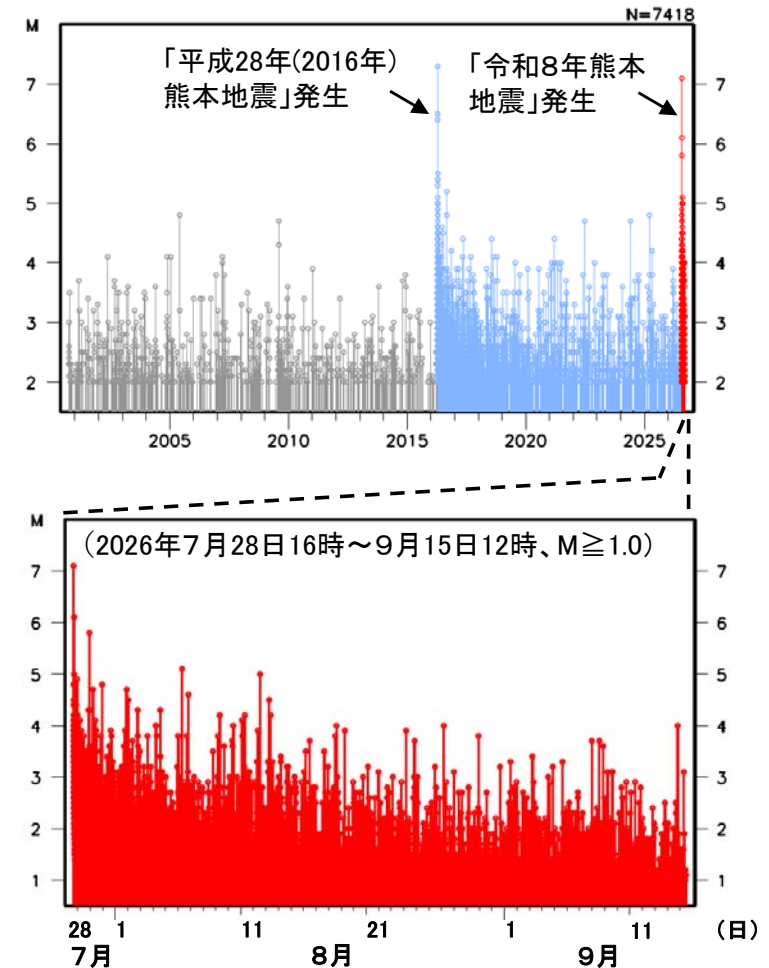
2016年4月14日21時以降の地震を**水色○**で表示

2026年7月28日16時以降の地震を**赤色○**で表示

青、緑、茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す



領域a内の地震活動経過図



※震源要素は後日、修正することがある。
※9月14日以降の地震は精査されていない値である。

- 今回の地震活動の領域(領域a)は、2026年7月28日にM7.1の地震(最大震度7)が発生して以降、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続しているが、大局的には緩やかに減少している。
- 今回の地震活動の最大規模の地震の北東側では、「平成28年(2016年)熊本地震」で最大震度7を観測した地震が発生している。